

Kyorin



健康はキョーリンの願いです。



第66期 中間株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日



代表取締役会長

穂川 稔

代表取締役社長

荻原 豊

当社グループは2023年6月、創業100周年を迎えました。これまで長年支えていただいた皆様方にはあらためて感謝を申し上げます。

現在、事業を取り巻く外部環境は急激に変化し、当社グループの経営に多大な影響を及ぼしています。他方、内部環境としては、成長ドライバーとして期待する新薬が出揃い、再び成長期を迎えたものと考えております。このような状況に鑑み、創業100周年を迎える本年、長期ビジョン「HOPE100」を1年前倒しで終了し、新長期ビジョン「Vision 110」及び新中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」を、2023年4月よりスタートいたしました。

今後も当社グループの「人々の健康に貢献したい」という創業当時の想いを企業理念「キョーリンは生命を慈しむ

新たな事業体制のもと、新長期ビジョンを推進し、企業の成長と持続可能な社会の実現により、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行してまいります

心を買き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」として受け継ぎ、長期ビジョン「Vision 110」を強力に推進し、当社グループの成長と持続的な社会の実現に向けて、真摯に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループに対する一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



当社グループは事業活動を通して、多様な医療ニーズへの対応をはじめとする社会的課題の解決に取り組み、その成果を全てのステークホルダーと共有することにより、価値の創造に努めています。



企業価値向上に向けた再投資

長期ビジョン「Vision 110」の概要

長期ビジョン Vision 110

創業110周年に向けたビジョン

長期ビジョン「Vision 110」は、10年後の創業110周年に向けたビジョンです。策定にあたっては、価値の高い新薬を創製し人々の健康に貢献していくという創業当時の想いやDNAを受け継ぐとともに、これまでの当社グループの課題を明確化し、新たな企業像を描きました。

目指す姿は「医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中核に据え、健康関連事業を複合的に展開し、人々の健康に幅広く貢献する企業」とし、その実現に向けて最終年度までの期間を3つのステージ(Stage1:2023年度～2025年度、Stage2:2026年度～2029年度、Stage3:2030年度～2032年度)に分けています。

Stage1

2023—2025年度

Stage2

2026—2029年度

Stage3

2030—2032年度

中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」の概要

中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」では、Statementに「Vision 110の実現に向けた事業体制への変革」を掲げ、成果目標の達成とステークホルダーの皆様からの支持・評価の向上を目指します。

成果目標(2025年度)

数値目標(連結ベース)

成長性	売上高年平均成長率(CAGR)	2.0%以上
収益性	研究開発費控除前営業利益率(営業利益+研究開発費)	16.0%以上

資本政策と株主還元

資本政策は、健全な財務基盤を維持しつつ、常に資本コスト・資本収益性を意識した上で、成長投資と株主還元を通じて、資本効率の向上を図ることを基本方針とします。株主還元は、DOE(株主資本配当率)を勘案して、安定した配当を継続します。

中期経営計画戦略イメージ Stage1 (2023—2025年度)

新医薬品事業	創薬	<p>① 医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出力強化</p> <p>新たな創薬戦略による創薬イノベーションへの挑戦</p> <p>体制刷新 長期の視点で継続的な新薬創出を実現する</p>
	導入	<p>② 導入による開発パイプラインの拡充</p> <p>導入品獲得力の大幅な強化</p> <p>DTx開発の推進</p> <p>資源重点投入 パイプラインを強化する</p>
	営業・SCM・信頼性保証	<p>③ 新薬比率の最大化</p> <p>新薬の普及最大化</p> <p>高品質な医薬品の安定供給</p> <p>収益のドライバー 収益を最大化する</p>
健康関連事業	後発医薬品事業	<p>④ 新医薬品事業と相乗効果のある健康関連事業の推進</p> <p>後発医薬品事業の持続成長の実現</p> <p>医薬品生産能力の強化と製造原価の低減</p> <p>感染関連事業の推進</p> <p>複合的な事業展開を支える信頼性保証体制の強化</p>
	その他事業	<p>⑤ 持続可能な企業基盤の構築</p> <p>コスト競争力の向上</p> <p>人的資本の充実</p> <p>環境、コンプライアンス、ガバナンス等への対応</p>

2023年度

キョーリン製薬グループ 経営方針

事業体制の刷新と 新たな取り組みによる成長

決算ハイライト

売上高	54,937 百万円	(前年同期比 11.9%増)
営業利益	1,144 百万円	(前年同期比 47.2%増)
経常利益	1,387 百万円	(前年同期比 18.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,757 百万円	(前年同期比 41.4%増)

当中間期の概況

当中間期における国内医療用医薬品業界は、2023年4月に薬価改定(中間年改定)が実施されたものの、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことから、患者さんの受診行動が同感染症拡大前の水準に回復し、医療用医薬品市場は1桁台中盤の成長率で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、2023年度の経営方針に「事業体制の刷新と新たな取り組みによる成長」を掲げ、事業活動のポイントとして①創薬体制の刷新、②パイプラインの拡充、③新薬の普及最大化、④コスト競争力の向上に積極的に取り組んでいます。

当中間期における売上高は、薬価改定(杏林製薬㈱7%台)の影響はあったものの、新薬の成長により、新医薬品等(国内)の売り上げは前年同期を大幅に上回る実績で推移しました。後発医薬品の売り上げも増加し全体の売り上げは549億37百万円と前年同期比58億44百万円(前年同期比11.9%増)の

2023年度方針のポイント

創薬体制の刷新

パイプラインの拡充

新薬の普及最大化

コスト競争力の向上

増収となりました。

利益面では、売上原価率は上昇したものの売上増加により売上総利益が前年同期に対して20億33百万円増加しました。他方、販売費及び一般管理費は前年同期に対して16億66百万円の増加(研究開発費は6億56百万円減少)となり、その結果、営業利益は11億44百万円と前年同期比3億66百万円(前年同期比47.2%増)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した特別利益(保険差益、受取損害賠償金等)の減少はあったものの、投資有価証券の売却益9億69百万円を特別利益に計上した結果、17億57百万円と前年同期比5億14百万円(前年同期比41.4%増)の増益となりました。

通期の見通し

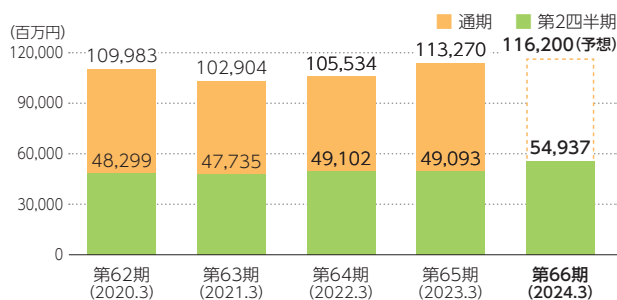
現時点におきまして、2023年5月11日に公表した通期の業績予想は変更しておりません。

2024年3月期連結業績予想(通期)

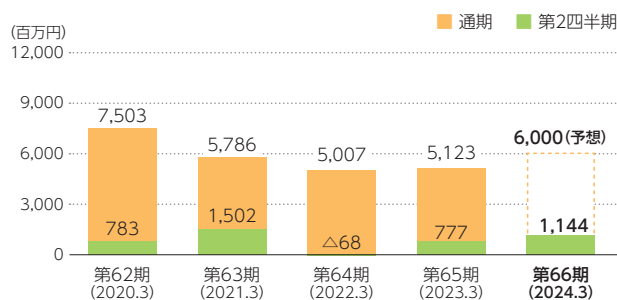
(2023年5月11日公表)

売上高	116,200 百万円	(前期比 2.6%増)
営業利益	6,000 百万円	(前期比 17.1%増)
経常利益	6,500 百万円	(前期比 11.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,900 百万円	(前期比 3.7%増)

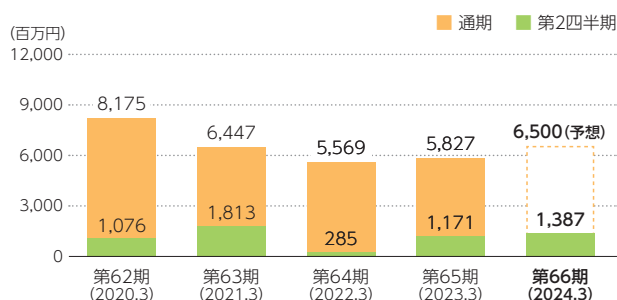
売上高 54,937百万円



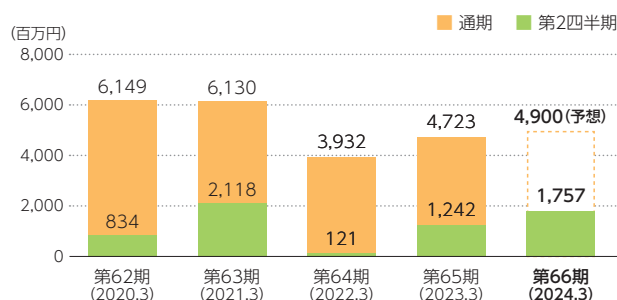
営業利益 1,144百万円



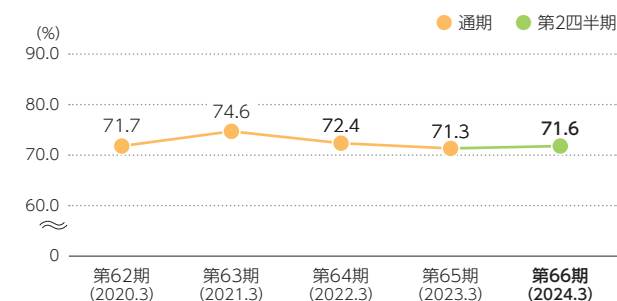
経常利益 1,387百万円



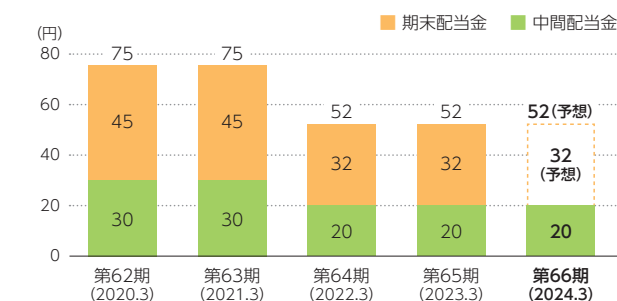
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 1,757百万円



自己資本比率 71.6%



配当金 20円



※税効果会計に係る会計基準一部改正により遡及適用後の数値を基に算出しております。

✳ 会社の概要

商号 杏林製薬株式会社
 (英文: KYORIN Pharmaceutical Co., Ltd.)
 事業内容 医薬品等の製造、販売と仕入
 本社所在地 〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
 設立 1958年(昭和33年)
 資本金 7億円
 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月に開催
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

✳ グループ会社 (連結子会社)

キョーリンリメディオ株式会社 (石川県金沢市)
 キョーリン製薬グループ工場株式会社 (東京都千代田区)

✳ 株式の状況

発行可能株式総数 297,000,000株
 発行済株式の総数 58,146,045株(自己株式6,461,891株を除く)
 当中間期末株主数 14,100名
 単元株数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 (特別口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
 (お問い合わせ) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
 お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

✳ 役員

取締役 代表取締役会長
 代表取締役社長 CEO
 取締役 CMO
 取締役(社外)

監査役 常勤監査役
 監査役(社外)

執行役員 執行役員 CHRO
 執行役員 CStO & CFO
 執行役員 CBDO
 執行役員 CCO
 執行役員 CSO
 上席執行役員
 執行役員

穂川 稔
 荻原 豊
 大野 道郎
 鹿内 德行
 重松 健
 渡邊 弘美
 本 春
 阿久津 賢二
 山口 隆央
 池村 幸雄
 森田 憲右
 下川 泰幸
 黒瀬 保至
 加治 貴章
 田村 徳昭
 石山 順一
 高橋 敬
 橋爪 浩
 辰巳 哲夫
 安江 徳太郎
 谷内 誠
 濱田 佳津宏
 橋本 好伸
 上原 研男

ご注意

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合
 住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式をお持ちの株主さまの場合
 住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(上記参照)にお問い合わせ願います。
3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、上記お取扱店及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

杏林製薬株式会社

〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
 TEL : 03-3525-4700(代)

